

茶 ちゃ チヤ

発行

茶道裏千家淡交会新潟青年部

発行責任者

部長 小林一彦

行 事 報 告

～平成27年 上半期版～

平成27年5月6日 卒業茶会

菰澤 睦美（石黒宗美社中）

ゴールデンウィークの最終日、昨年末で青年部を卒業された先輩方をお招き致しました。会場は小林部長宅でもある 友誼庵でしたので お食事をお召し上がりいただき、濃茶、薄茶のひとつきをお過ごしいただきました。

お道具も、先輩方の思い出があるものと考え、青年部行事で製作したものやブロック研修などで製作したものなどを使用させていただきました。皆さん「懐かしい」とその都度笑顔を見せていただきとても和やかな雰囲気、こちらとてもうれしい気持ちでおもてなしさせていただきました。

現役会員の参加者も大勢で 水屋が窮屈に感じる程でしたが、皆、先輩方をおもてなしして送り出したいという気持ちで溢れておりましたので、とても良い会となりました。



平成27年5月10日 奏風茶会

加藤 宏隆（片山宗雪社中）

まだお茶をはじめて1年半で今回、はじめて青年部のお茶会に参加させて頂き、主に受付と呼び込みをさせて頂きました。

なにもわからない中、お茶会の全体の流れや受付のこと、設営などに関してなんとなくわかるようになりました。尋ねると先輩方が優しく教えてくれたので有り難かったです。

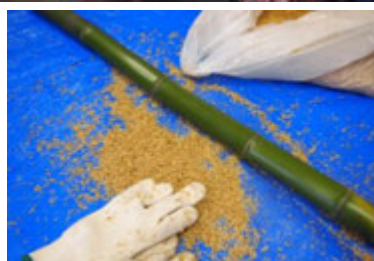
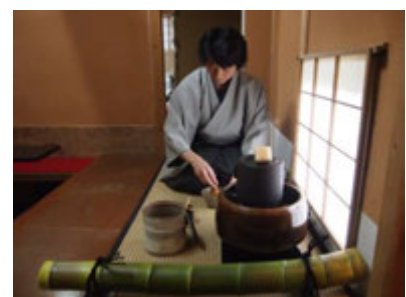
今回の奏風茶会の結果、お客様の人数が目標を上回り、すべての時間帯で8割以上の席が埋まり良かったのですが人通りが少ない時間帯があり、その時間の呼び込みが大変でした。

前回はわからないので比較は出来ませんが、みんなでやり遂げるという一体感があり、皆さんの連携が凄いなと思いました。あと私は参加してませんでしたが前日に結界や蓋置きなど、竹を切り手作りで作っていたのがすごく良かったです。

私などではまだお茶会の大変さは漠然としかわかりませんが、道具選びはホント大変だなと思いました。季節柄やテーマ、お客様を考えた道具選びを少しずつ勉強していければと思います。

今後の稽古の励みになりました。

次回お茶会でお役に立てるよう少しずつ勉強していきたいと思います。



平成27年6月21日 新入会員歓迎茶会

川鍋 誠二（小川宗聰社中）

森が生命力を帯びる夏至にあたるこの日、わたしは『新入会員歓迎茶会』に参加するため、三条市に窯をかまえる中村宗元先生のもとを訪れた。そこで、ご丁寧な指導のもと、本格的なお茶碗をつくらせていただいた。ひんやりやさしい土の感触を手全体で楽しみつつ、飲み心地や持ち心地などなるべく細部に想いをめぐらせた。「自作のお茶碗でお茶を点てられる」という喜び。お茶をはじめたばかりの私にとっては、まずなによりの“ごちそう”だった。

茶道について、その所作や知識など、修練し学ばなければならないことが多い。一方で楽しみ方は無限に与えられている。そんな茶道の懐の広さも感じる事ができた。

また昼食のお手製流しそうめんに、先輩がたが点前をしてくださった薄茶。学びと“ごちそう”に満ち溢れた一日だった。



平成27年6月28日 キモノで茶話会

木村 由紀子（結城宗由社中）

6月28日（日）。「キモノで茶話会」に参加してきました。

当日は各自で着物を着て集合。遠藤さんの着付けを見せてもらい、より綺麗に着物を着るコツを教えていただきました。朝、自分で着た時のことを思い返し「なるほど！こうすればもっと上手にできたんだ！」と気づくことばかり。特に、お茶席で着物を着る時のコツや注意点は、1週間後のチャリティー茶会で早速実践することができました。その後、車を乗り合わせて三条へ移動。丸伊今井邸での「男子 茶游会」に伺ってきました。青年部行事初参加だったため、内心ドキドキしていた私ですが、あまりの楽しさにいつの間にか緊張もほぐれ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



ブロック研修チーム 研修報告

磯部 寛子（渡辺宗京社中）

この度、第7期北陸信越ブロック研修チームの機会をいただき、去る3月7日、8日、富山にて第1回目研修に参加して参りました。初めにブロックの役員方によるお茶席がありました。緊張しながらも席入りすると、迎えてくれたのは「白井尚可磨」のお軸。心をまっさらにして、これから新たな気持ちで2年間がんばりなさい、と背中を押してもらった気がします。

お茶席で気持ちを新たにした後、裏千家淡交会青年部についての講義を拝聴しました。青年部だからこそできる多くの方々との出会いや、頂くことのできるたくさんの機会に改めて感謝し、今自分がここで研修させていただくことの意味を考えるよい時間となりました。また、先輩方のお話をお聞きして、これからやってみたいことなどに夢が膨らみました。

2日目は3分間スピーチと巻紙講習がありました。事前に「自分がお茶を始めたきっかけ」と「この2年間研修チームでやってみたいこと」を盛り込むように言われていたので、今回のスピーチを考えるにあたり、今までの自分とお茶とのかかわりを振り返り、見つめ直すよい機会となりました。研修チームの皆さんの個性あふれるスピーチをお聞きして、お茶への熱い志に大変刺激を受けました。最後にお別れする頃には、次に皆さんとお会いできるのがとても楽しみにしていました。

第二回目は5月25日に行われました。いよいよ宗家研修です。前日に京都入りし、元全国代表者会議議長米沢昭博様の榮春寺にて、座禅体験のオプションツアーに参加して参りました。初めての座禅体験はもちろん、米沢様より頂いた宗家研修への心構えや、数々の貴重なお話をお聞きし、特に、「今、あなた達は裏千家の

先輩方が作ってくださった道のりの中の、本当によいところだけを経験させてもらっている。今はこの経験を五感でただ感じることに、そして将来はあなた達はその道のりを後輩に示す存在となるように」というお言葉が心に深く残りました。

翌日、宗家研修の日を迎えました。まず、裏千家学園での開講式に続き、今日庵業舩泉本宗玄先生より、四規七則についてご講義をいただきました。裏千家学園の授業を見学する機会もいただきました。多くの外国人の学生が学んでおり、茶道への国際的な関心の高まりを実感しました。

午後からはいよいよ兜門をくぐり、まずは平成茶室でお茶をいただきました。大玄関が改修中のため、今回はお勝手口から入らせていただきましたが、こちらも今回ならではの貴重な経験となりました。咄々斎の、歴代宗匠方がもたれてご指導された柱や、玄々斎が当時の時代の流れに危機感を感じて直筆された反故襖を目の当たりにして、連綿と続く裏千家の歴史の中に、今私たちが学ばせていただいているありがたさを、身をもって感じました。最後に、大徳寺の金毛閣と聚光院を拝観し、利休居士と歴代宗匠方のお墓にお参りして、今回の研修を終えました。

今回の研修を終えて、もう2回分も研修が終わってしまったと寂しく感じている自分がいることに気づきました。裏千家の大きな歴史の中で学ばせていただいていることへの改めての感謝と気づき、そして、北陸信越ブロックの各地で青年部活動に励んでいる仲間たちの存在は、私のお茶の世界を広げてくれました。このようなすばらしい機会を与えていただいたことに感謝いたします。これから2年間を、私なりに実りあるものできるように、また、学んだことを未来に恩返しできるように、毎回毎回の研修を大切に、精一杯取り組んでいきたいと思いをします。



第28期リーダーシップ・トレーナー研修(前半)報

池田 誠(富澤宗典社中)

この度、機会をいただき第28期リーダーシップ・トレーナー研修(LT研修)に参加させていただいています。茶道や青年部について考え、自身の中で深化させる濃密な時間と環境を与えていただいたことに、坐忘斎御家元様、鵬雲斎大宗匠様、総本部の皆様、ブロック役員の皆様や支部の先生方、背中を押してくれた新潟青年部会員、快く送り出してくれた師や社中の皆に、この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

2月7日早朝、冷え込む京都駅に着き、第1回研修がいよいよスタートしました。初日は午後から坐忘斎御家元様ご出席の下、開講式が行われました。代表者に委嘱状が交付され、御家元様のご自身の経験を交えた言葉に、それまで抱えていた不安を上回る「これからの一年間を実りあるものにしたい」という委嘱通知をいただいたときの気持ちを改めて思い出したことを鮮明に覚えています。開講式に続き、呈茶と宗家拝観をさせていただきました。その後は裏千家学園で講義研修となり、木戸崇夫淡交会常任理事から「淡交会について」と題して、続けて長谷川義翁淡交会総本部事務局長から「御家元指導方針について」について講義いただきました。

翌8日はあいにくの雨の中、大徳寺金毛閣と聚光院の拝観の後、利休居士の墓参と続き、裏千家学園に移動した後、3分間スピーチと



なりました。長いようで短い3分間に、伝えたい思いを込めることの難しさを実感。あっという間に第1回研修が終了し、初めてのことに緊張続きの2日間でした。

第2回研修は緑の美しい4月18日(土)、19日(日)、裏千家学園で行われました。開講式では関根秀治淡交会副理事長からのご挨拶に続き、小川愛一郎全国代表者会議議長、行松宏展副議長(いずれも当時)、正副役員の皆様

から激励の言葉をいただきました。

研修では、松尾拓二組織部課長から「青年部について」と題した講義をいただきました。青年部について、改めてしっかりと学ぶ有意義な講義となりました。その後、グループに分かれ、模擬青年部として課題解決の方策について検討を行いました。翌日には、パスト全国委員の米澤昭博様から「青年部活動の喜び」をテーマに講演をいただきました。私たちがこの研修に参加できる所以やその意味、未来に向かってどう向かい合っていくのか、示唆に富み、ずっと沁み入る講演でした。

第3回研修は青年研修会として、7月17日(金)夕方からのオリエンテーションを経て、18日(土)から20日(月・祝)まで、茶道会館及び裏千家学園を会場に行われました。今回の研修では、オリエンテーションに先立ち、LTの自主研修として数グループに分かれての帛紗の染色体験を行いました。体験を受け入れていただいた北村善染工所様のご厚意で、各々のイメージする緑色を作っていただき、一人一人が自分で染色する貴重な体験となりました。17日夕方からは、オリエンテーションに合わせて、LTによる呈茶をさせていただきました。夏とは思えない大雨の中、集まった皆さんに少し落ち着いていただけたのではないかと思います。翌日からは、いよいよ研修。前日に引き続き雨となりましたが、開講式での御家元様のお言葉に、自身の気持ちが自然と研修に集中していくのを感じました。開講式の後、各々の教場に移動し研修が始まります。3日間を半日ずつ業舩先生にご指導をいただきました。自然と集中して背筋が伸び、見聞きする言葉を覚えようと集中力が高まる、とても濃密な時間となりました。拙い班長の役目も、優しい班員の方々にサポートしていただいた3日間となりました。

この研修でしか体験し得ないプログラムと、熱い思いを持って全国から参加している29名との経験はとても濃密な時間です。残りの研修を実りあるものにできるよう、積極的に参加していきたいと思っています。

新潟青年部結成50周年記念行事について

平成27年11月8日(日)。

千敬史様、万紀子様をお迎えし、ANAクラウンプラザ新潟にて記念行事が開かれます。

記念茶会、祝賀会の他、万紀子様、敬史様との鼎談会の催しが決定しております。

会員の皆様はもちろんの事、先生方を始め多くの淡交会の会員の皆様にご出席いただけますようよろしくお願い致します。

会員の皆様からも、多くのお声がけをよろしくお願いいたします。



平成27年 新潟青年部テーマ 『また会いたくなる仲間になろう！』

平成27年 新潟青年部 今後の行事予定

■10月10日(土)～11日(日)

第28期LT研修第5回研修会(京都府ほか)
新潟青年部からは池田誠さんが出席します。

■10月3日(土)～25日(日)の土・日曜日及び 10月31日(土)

蒔絵体験(三条市)

菓子器に蒔絵を書きます。詳細は各委員長へ。

■10月31日(土)～11月1日(日)

第48回ブロック会員大会・ブロック協議会
(富山県魚津市)

新潟青年部からは12人が
参加予定です。



■11月8日(日)

新潟青年部設立50周年記念式典・祝賀会
(青、ANAクラウンプラザ)

御宗家から敬史様、万紀子様がお出席されます。

■11月21日(土)

幼稚園マナー教室(交、五泉いずみ幼稚園)

■12月4日(金)～5日(土)

第28期LT研修第6回研修会(京都府)

新潟青年部からは池田誠さんが出席します。

■日時未定

研修委員会行事(研)、上越委員会行事(上)



その他の行事に関しては、各委員長より随時 メールにてお送りしています。
メールアドレス変更や、新入会員でメールが届かない方は、速やかに
総括幹事 酒井の方までご連絡ください。

編集後記

◆当初の予定より遅れましたが、
なんとか第8号を発行することが
できました。今回は上半期の活
動報告編です。青年部全体、各
委員会、ブロックや育成委員会
等々まとめてみると沢山の行事
が行われ、沢山の会員が参加し
てくれている事に心から嬉しく
思っております。これから創立
50周年行事に向けて更に慌ただ

しくなっていますが、今の青
年部会員の勢いがあればきっと
成功すると確信しております。
それぞれ公私ともに忙しくなっ
て参りますが、体調だけはしっ
かり整えておきましょう。(笹沢)
◆8月末から急に涼しくなりま
したね。体調管理に気をつけて
仕事にお茶に、頑張りましょう。
(島田)

◆気がつけば今年もあと3カ月を
切りました。皆様にとってここま
ではどんな年だったのでしょうか。
今号は今年前半の新潟青年部がぎ
っしりで、読み応え抜群の内容で
す。後半もお楽しみに…。個人的
には週年行事まで約1カ月、そし
てLT研修も残り2回、少しでも
前に出る気持ちを忘れずに、ラス
トスパートしてきます。(池田)